

第 419 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 8 年 3 月 3 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 令和 8 年 2 月 2 0 日 (金)
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 服部乃利子
委員 加藤裕治
(3 委員 / 6 委員)

[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部シニアマネージャー 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-M I X の 2026 年度の営業状況の報告
6. 番組審議
[番組名] K-MIX LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 令和 8 年 2 月 2 0 日 (金)
[出演者] kainatsu ・ わたなべだいすけ
[番組内容] 音楽をライフワークとして生きている
kainatsu と、リスナーの人生や生活に寄り添うような音楽を
作り続けている D.W.ニコルズのフロントマン：わたなべだいすけ。
そんな kainatsu の “LIFE” と、わたなべだいすけの “LIFE “、
そしてラジオの前のあなたの” LIFE “。毎週、その 3 つの” LIFE “が
交わって新しい” LIFE “をつくっていくプログラム。
そのため、番組に決まりはない。
日々の生活の中で 2 人が気になっている出来事を深く掘り下げる
日があれば、2 人が気になっている音楽について語りつくす
日があるかもしれない、全編ライブ！という日や、
プログラム冒頭から最後までゲストトークという日もある
可能性もある。
その日その日に生まれる “LIFE” を、ラジオを通して共有していく。
そういう約 3 時間。

[聴取・合評での主な意見]

加藤委員

番組として完成していると思われる。番組で作られる共同体が楽しく、そこに魅力を感じている聴取者も多く「型」が出来上がっている。そのため新しい聴取者が入りにくいのではないか。この辺りは時代の流れを感じる。わたなべだいすけさんも kainatsu さんも、話す内容をしっかり作り上げていて内容も良いのだが、話の組み立てが、今の時代、話が長いと捉えられたり、受け付けない聴取者もいるのではないだろうか。時々、内容を肯定を積み上げて、短く、はっきり、スッキリ話してみてもよいと思われる。また、10年という長い番組でもあるため、静岡県内＝地元の話題を意識して少し多くすると良いと思う。

服部委員

長寿番組の良さで、やはり、パーソナリティ二人のトークは安定していて、聴き手に安心感を与えてくれる。一方で、かつての深夜ラジオのように二人だけの世界観も存在しているので、トーク内容を発言で終わらせずに、様々な展開をして、広げてみるのも良いのではないだろうか。また、番組内のコーナーをシャッフルしてみたり、メッセージを送ってくれた聴取者の年齢層を散りばめると、新鮮感が増して、「新しい聴取者」も番組に入りやすくなると思われる。パーソナリティが共にミュージシャンでもあるので、若年層の心に刺さる「歌詞」を解説したり、専門的な観点をに入れてみて、徹底的に音楽を語り合ってみるのも良いと思う。

木宮委員長

端的に、番組時間の約3時間は長いと思うが、その長さを長いと感じさせない番組完成度は高く、まさに生ワイドの「完成型」だと思う。新しい聴取者を番組に呼び込むために、あるトピックを長く引っ張って番組を展開して行く現在の手法を簡潔にトークする要素を散りばめて番組を進めてみるのも一つの方法ではないだろうか。また、番組10年をきっかけに、パーソナリティそれぞれが、今後どういう方向に進みたいのか、局として、この番組をどの方向に進めて行きたいのかを考えてみると良いと思う。

会社サイド

パーソナリティの kainatsu と、わたなべだいすけは、この番組開始から 10 年を経て、静岡県で知名度のあるミュージシャンとなっている。番組では、その二人の個性と、それが一つになったときの良さをこれからも維持して、安定感のある週に 1 度の楽しさを提供していきたい。

以上

次回開催日 令和 8 年 4 月 7 日(火) 11:00～13:00 を予定

番組審議会委員長

木 宮 敬 信